

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	環境計画小委員会	主 査 名：池田 孝之 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小林
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・地域における身近な環境の保全・改善のための都市計画システム（法制度手法、行政システム、コミュニティ・プランナー制度、NPO 活動及び支援方策、等）の実態とあり方について、各地域での実践事例の検証を通して、国内外の環境改善協働プロジェクト展開へ向けた研究を行う。</p> <p>・2008 年度：地域における身近な環境の保全・改善活動と計画支援制度の事例収集。</p> <p>学会学術研究発表会大会におけるオーガナイズドセッションの企画と運営。</p> <p>・2009 年度：地域における身近な環境の保全・改善活動と計画支援制度の実態把握と検証。</p> <p>学会学術研究発表会大会におけるオーガナイズドセッションの企画と運営。</p> <p>・2010 年度：環境保全・改善計画手法のモデル化とアジア地域への導入の可能性に関する研究。</p> <p>学会学術研究発表会大会におけるオーガナイズドセッションの企画と運営。</p> <p>・2011 年度：学会学術研究発表会大会におけるオーガナイズドセッションの企画と運営。PD 又は研究協議会の開催。研究成果を出版物として刊行する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	池田孝之（琉球大学）、辻本乃理子（大阪健康福祉短期大学）、小野尋子（琉球大学）、安里直美（沖縄建設弘済会）、安部貞司（日本設計）、大和田清隆（都市防災研究所）、郭東潤（千葉大学）、川崎興太（UG都市建築）、清水肇（琉球大学）、田中宏実（藤女子大学）、本多弘司（名古屋市立大学）、水原渉（滋賀県立大学）、吉村輝彦（日本福祉大学）、陳湘琴（虎尾科技大学）、宋曉晶（琉球大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む、9/9、11/12、1/12）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究会の開催、研究活動情報の交換をしながら、特に、地域における身近な環境の保全・改善活動と計画支援制度の事例収集を行い、その一部成果を学会論文として発表した。 2. 2010 年度大会時でのオーガナイズドセッションについてテーマを提案し、論文審査を行った。応募件数が1件であったため他のOSに含めて実施した。 3. 地域での環境、風景にかかわる取り組みに対して支援・協力を行った。 (沖縄県名護市、うるま市、宮古島市、南城市) 4. 環境モデル都市の事例として愛知県豊田市を対象に実態調査を行った。 5. 2011 年度の小委員会活動計画として全国の環境モデル都市を対象に継続的調査を行い、2012 年度の学会大会時 PD 開催へ繋げていくことを確認した。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全国にまたがった委員構成のため、全員集まったの議論が困難である。 2. 今後、他の委員会、小委員会等との共同企画、活動連携についても検討する。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。